

いっぽんの松

【作詩】喜多條忠
【作曲】船村徹

□□□

1

波がさらった 七万本の
陸前高田の 松原に
いっぽん残った 松がある
もいちど故郷 作ろうと
戻る人達 迎えるために
残った祈りの 松がある

2

夢も暮らしも いつかは戻る
その日は必ず 来るからと
いっぽん残った 松が言う
大地に根っこを 踏みしめて
涙乗り越え 生き抜くちから
教えるいのちの 松がある

3

雪がどんなに 降りかかろうと
しぶきがその身を 削ろうと
いっぽん残った 松がある
生まれて育った 北国の
強い心の 真ん中に
残った奇跡の 松が立つ

いっぽんの松

1

□□■

波がさらった 七万本の
陸前高田の 松原に
いっぽん残った

松がある

もいちど故郷 作ろうと
戻る人達 迎えるために
残った祈りの 松がある

2

いっぽんの松

□■

夢も暮らしも

いつかは戻る

その日は必ず

来るからと

いっぽん残った松が言う

大地に根っこを

踏みしめて

涙乗り越え

生き抜くちから

教えるいのちの松がある

いっぽんの松

■ ■ ■
3

雪がどんなに

降りかかろうと

しづきがその身を

削ろうと

いっぽん残った

松がある

生まれて育った 北国の

強い心の 真ん中に

残った奇跡の 松が立つ